

# 瀬戸内の花こう岩

<長 秋雄<sup>1)</sup>・藤田 勝代<sup>2)</sup>・横山 俊治<sup>3)</sup>・能美 洋介<sup>4)</sup>・鈴木 寿志<sup>5)</sup>・郷津知太郎<sup>6)</sup>・竹下 浩征<sup>6)</sup>>

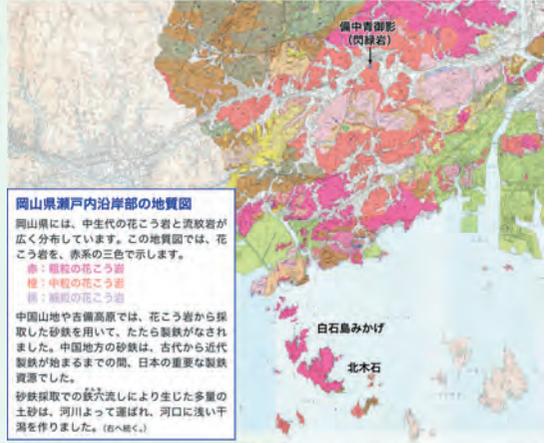
## 古代吉備国から現在まで —岡山県瀬戸内沿岸の花こう岩



**鬼ヶ峯**  
国指定名勝地  
昭和5年10月3日  
矢掛町、井原市  
美山川の上流にあり、水辺と木々の景観が、4kmにわたって続きます。  
美ヶ原温泉には、鬼ヶ峯の景観に似ている場所も残っています。



**原川**  
国指定名勝地  
大正12年3月7日  
総社市  
高梁川支流の横谷川が、花こう岩台地をけずったできた渓谷です。  
空につつまされた天柱山、剣峰などの地形と清流が、見事な景観をつくりだしています。



**北木島 北木石採石場** 『熊田石材株式会社 笠岡市』  
現在は、海面下70mで、採石が行われています。  
「北木石」が使われた建築物や石造物  
・大阪城石垣、大阪城桜門 ・日本銀行本館(重要文化財)  
・三輪本店 ・徳島神社の大鳥居  
・五条大橋 ・江戸川乱歩の墓石  
北木中学校にある「北木石記念室」には、江戸時代から現代にいたる「北木石」の歴史が、実物とともに、展示されています。

**岡山県瀬戸内沿岸部の地質図**  
岡山県には、中生代の花こう岩と流紋岩が広く分布しています。この地質図では、花こう岩を、赤系の三色で示します。  
赤：粗粒の花こう岩  
赤：中粒の花こう岩  
赤：細粒の花こう岩  
中国山地や吉備高原では、花こう岩から採取した砂鉄を用いて、たたら製鉄がなされました。中国地方の砂鉄は、古代から近代製鉄が始まるまでの間、日本の重要な製鉄資源でした。  
砂鉄採取での鉄火流しにより生じた多量の土砂は、河川によって運ばれ、河口に浅い干潟を作りました。(石へんこ)



**白石島 鑑岩からの眺望**  
国指定名勝地 昭和18年2月19日 笠岡市  
島全体が名勝地です。鑑岩・大玉岩など、島内をめぐるハイキングコースが整備され、瀬戸内の景観美もすばらしい。「白石島みかげ」の産地です。



**六口島の象岩**  
国指定・天然記念物 昭和7年7月23日 倉敷市  
海岸の花こう岩が、波に侵食されてきました。高さは約8mで、満潮時には半身を浸らします。

地質情報展 2009 おかやま「ワクワク・発見 瀬戸の大地」 産総研地質調査総合センター

## 方成石の里



**方成石採石場** [浮田石材店] (矢坂山)  
矢坂山の北側では、方成石が採石されています。  
方成石が用いられた石造物や建築物  
・池田屋の墓所  
・明治神宮外苑の給水所  
・日生劇場ビル  
・伊勢丹ビル  
・岡山県立美術館の内装  
・ユネスコ本部(パリ)の直線(設計:イサム・ノグチ)  
岡山市文化奨励賞を受賞されたお三人、金谷経郎先生、小林照夫先生、よしもと正人先生が、工房をおかれています。



**富山城址** (矢坂山)  
北には山脈道が通っていて、交通の要衝にあります。備前国半分を支配していた松田氏(即治郡余川城主)が、旭川兩岸平野を支配するための支城として、重要な意味をもっていました。  
松田氏が永禄13年(1570年)に宇原多喜家によって滅ぼされた後は、直重の弟である浮田忠家が城主となり、岡山の押さえとして、そして直家が岡山城に移った後は、河本利氏の前線基地として極めて重要な城でした。(岡山市ホームページより)



**松山長昌寺 地蔵石仏** (矢坂山)  
(岡山県指定重要文化財 昭和39年5月指定)  
大きな粗粒花こう岩の自然石に彫られたお地蔵さま。応永十年(1403年)から九年をかけて松山長昌寺の僧により作られました。  
香炉は寺の上層の岩に彫られました。天長七年(1836年)の地震で彫削して磨いたものを、寛永(1850年頃)に地元の人々が引き起こし、現在のようになったと言われています。(岡山市教育委員会の説明文より)

## 矢坂山・万成山・京山の

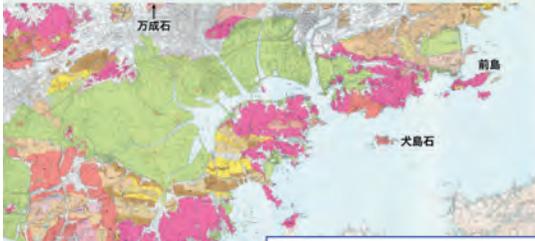


**矢坂山・万成山・京山の立体地質図** [おんふる成協会 能美洋介(岡山理科大学)・鈴木寿志(大谷大学)]  
矢坂山・万成山・京山では、上部に粗粒花こう岩が、ふもとに粗粒花こう岩が、分布しています。  
・粗粒花こう岩は、粗粒の花こう岩より風化しにくいため、矢坂山・万成山・京山になっていると考えられます。  
・粗粒花こう岩は、石材に使用され、「方成石」と呼ばれる日本を代表する「板みかげ石」です。



地質情報展 2009 おかやま「ワクワク・発見 瀬戸の大地」 産総研地質調査総合センター

## での財を築いた石たち う岩・名勝地・石材産地一



備前焼に使われる粘土は、備前地域に分布する流紋岩が風化してできた粘土（カオリナイトなど）です。地質年代の長い風化に耐えた瀬戸内の島々の花こう岩は、硬く・良質の花こう岩です。瀬戸内の海運にも重まれ、大阪城石垣に用いられました。北前船により全国にも運ばれました。

明治以降の日本の近代化においては、港湾（大坂港など）、近代的石造建築物（日本銀行本館・国会議事堂など）といった社会資本の整備にも用いられました。

現在でも、すばらしい景観美を、私たちに与えています。



**鷺羽山からの眺望（瀬戸大橋）**  
国指定名勝地 昭和5年11月19日 倉敷市  
瀬戸内海に突き出した花こう岩の岬です。瀬戸大橋・瀬戸内海の島々・四国を展望することができます。



**犬島のダゴ石**  
大島港にあり、昔人を遊ばせてくれます。大阪城の硝石(36段敷)・塙地石(33段敷)は、「犬島石」でしょう。明治30年からの大坂港通商では、無数の「犬島石」が切り出されました。



**鬼ノ城 屏風折れの石垣**  
国指定史跡 昭和61年3月25日 総社市  
吉備高原の南端にある鬼城山の平坦な頂部に築かれた古代の山城。昭和46年に発見されました。鬼ノ城の城壁は高さ5〜7m、山の8〜9合目にかけて築かれ、延長2.8kmにもなります。壁には同時期と考えられる千引ナカノ谷築込遺跡群がありますが、その関連は明らかになっていません。



**鬼の差し上げ岩**  
総社ふるさと自然のみち 総社市  
鬼ノ城から谷を挟んだ北西の山中にあります。大きさは、およそ縦15m・横5m・厚さ5mで、重さは900トンを超えます。鬼が、この巨石を差し上げて前庭をつくり、すまかにしたと伝えられています。総社ふるさと自然のみちには、他にも、「鬼の餅つき岩」・「鬼の寝寝岩」・「鬼の酒盛り岩」があります。



**前島のうさぎ石**  
瀬戸内海に浮かぶ花こう岩には、いろいろな動物の名前がつけられています。猿岩・鶴石（北木島）、亀石（白石島）、象岩（六口島）、犬石明神（犬島）、うさぎ石・ねこ石（前島）など。



**前島の大阪城築城残石**  
徳川幕府による大阪城築城での残石  
正面の残石には石割りの欠穴跡が見えます。

地質情報展 2009 おかやま「ワクワク・発見 瀬戸の大地」 産総研地質調査総合センター

## 自然と文化

### 石造り古墳（万成山）

総社花こう岩の巨石を積み上げた古墳が、あります。



### 岡山県立児童会館 太陽の丘（京山）

万成花こう岩・総社花こう岩・岩割、タマネギ岩風化などの地質現象を観察することができます。



さみも、ジオトレイル（地学公園探検マップ）にチャレンジしてみよう。

### 池田動物園（京山）

池田動物園では、総社花こう岩の露頭をしかるかに活用しています。



地質情報展 2009 おかやま「ワクワク・発見 瀬戸の大地」 産総研地質調査総合センター

- 1) 産総研 地図資源環境研究部門
- 2) 財団法人深田地質研究所
- 3) 高知大学
- 4) 岡山理科大学
- 5) 大谷大学
- 6) 株式会社森山地質年代学研究所